

地球惑星科学分野の新しい科学・夢ロードマップ

New science dream roadmap in Earth and planetary science

*倉本 圭¹、中村 卓司²、佐竹 健治³、ウォリス サイモン⁴

*Kiyoshi Kuramoto¹, Takuji Nakamura², Kenji Satake³, Simon Richard Wallis⁴

1. 北海道大学、2. 国立極地研究所、3. 国立中央大学 (台湾)、4. 東京大学

1. Hokkaido University, 2. NIPR, 3. NCU, 4. University of Tokyo

日本学術会議地球惑星科学委員会はJpGUと協力し、「地球惑星科学分野における科学・夢ロードマップ 2020」の制定・報告を行ってきました。それから6年余りが経過し、我が国の地球惑星科学とこれを取り巻く状況は変化していることから、現在、この科学・夢ロードマップの改訂作業が進められています。日本学術会議では、我が国の学術全体の将来構想を示す「未来の学術振興構想」2023年版をまとめましたが、地球惑星科学分野の科学・夢ロードマップは学術全体のグランドビジョンとしての中長期戦略のグルーピングに基礎を与える役割も果たしています。現在、同会議は「未来の学術振興構想」2026年版への小改訂に向けて「学術の中長期戦略」の公募・レビュー・分析を行っておりますが、「未来の学術振興構想」の大改訂にむけた公募もそう遠くない時期に開始される見込みであり、今回の科学・夢ロードマップの改訂は、学術分野全体の中で地球惑星分野の立ち位置を見直すことにもなります。本講演では、JpGU各サイエンスセクションでの検討結果を踏まえ、改訂の全体的な方向性について検討し、地球惑星科学の発展に向け、よりよい科学・夢ロードマップにまとめ上げてゆくための議論を行います。

キーワード：科学・夢ロードマップ、地球惑星科学

Keywords: science dream roadmap, Earth and Planetary Science